

C-25 からだの左右差に就いて

和洋女大 文家政 オカテル子 早大教育 伊藤秀三郎

目的 私共は、からだにはどの程度の左右差があるかどうか、被服構成から興味を懷いたので、その点を探求することを目的として、若干の被験者に就いて計測を試みた。

方法 シルエット写真より人体正面での肩巾(breadth of shoulder)、ウエスト(Waist)及びヒップ(Hip)等を計測し、その左右差を求めた。

被験者は、和洋女子短大2年度生181名で、服装はブラジャー、コルセット及びガードルのみとし、シヨルダーポイントとネックポイントにしるしをつけ、後の髪は束ねさせた。

正面撮影では、撮影台の足型に被験者の足を合せ立たせ、手は股より10cm程離し自然な状態で行った。(撮影)

側面撮影では、被験者に左を向かせ勿論足型に足を合せ、手は股につけた状態で行った。(撮影)

結果 左右差に就いては、右側の長さを基準とし考え、左側の長さ÷右側の長さを計算した。 >1 $=1$ <1 とすると 肩巾では 30.9, 24.9 及び 44.2(%)、ウエストでは、26.5, 34.3 及び 39.2 更にヒップでは 12.7, 34.8 及び 52.5 であつた。かく右側の方が左側の方より長い者が多いことが判つた。(外省略)